

第3回県立高等学校入学者選抜制度検討委員会 会議次第

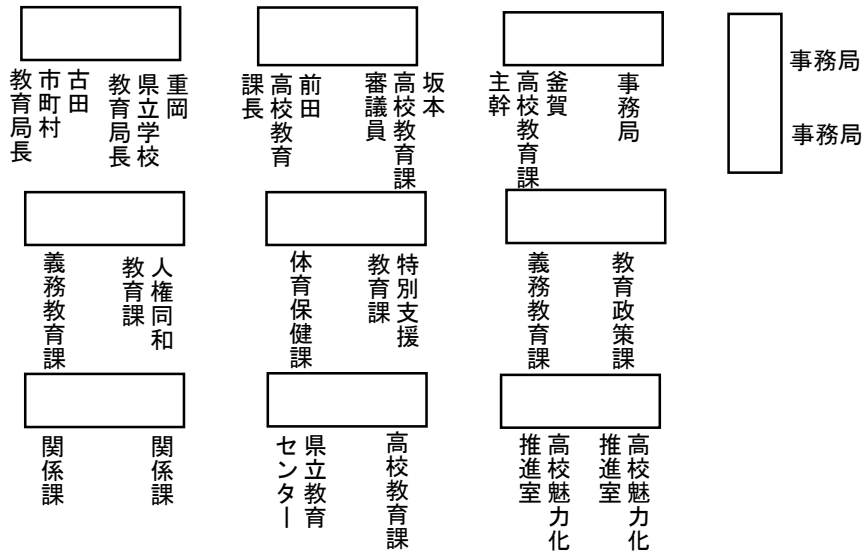
令和4年（2022年）5月31日（火）14：00～
水前寺共済会館グレースシア 芙蓉

- 1 開会
- 2 県立学校教育局長挨拶
- 3 出席者紹介
- 4 日程説明
- 5 会議の公開・非公開について
- 6 委員会の趣旨説明
- 7 入学者選抜制度の趣旨と課題
- 8 議事
 - (1) 令和4年度（2022年度）熊本県立高等学校入学者選抜について【報告】
 - (2) 入学者選抜制度の今後の方向性について
 - ア 第1回及び第2回委員会の概要及び論点
 - イ 主な都道府県の入学者選抜制度について
- 9 事務連絡
- 10 閉会

第3回県立高等学校入学者選抜制度検討委員会 座席表

出川 聖尚子 副会長 八幡 英幸 会長

藤本 英行 委員			野口 泰喜 委員
大平 雄一 委員			足立 國功 委員
吉永 公力 委員			音光寺 以章 委員
原 公德 委員			本田 裕紀 委員
作田 潤一 委員			牛田 卓也 委員
池田 廣 委員			田中 篤 委員
松島 雄一郎 委員			田中 万里 委員
夏木 良博 委員			



傍 聴 席 (10脚)

記 者 席 (10脚)

県立高等学校入学者選抜制度検討委員会 委員一覧

	区 分	氏 名	役 職	新規 継続
1	学識経験者	八幡 英幸	学識経験者（熊本大学 理事）	継続
2		出川 聖尚子	学識経験者（熊本学園大学 社会福祉学部 教授）	継続
3	各種団体 関係者等	野口 泰喜	熊本県人権擁護委員連合会会長	継続
4		藤本 英行	熊本日日新聞社編集委員兼論説委員	新規
5		足立 國功	熊本県産業教育振興会会長	継続
6	議会・行政 関係者	大平 雄一	熊本県議会教育警察常任委員会委員長	新規
7		音光寺 以章	熊本県都市教育長協議会会長	新規
8		吉永 公力	熊本県町村教育長会会長	継続
9	学校教育 関係者	本田 裕紀	熊本県小学校長会会長	新規
10		原 公德	熊本県中学校長会会長	新規
11		作田 潤一	熊本県中学校長会副会長	新規
12		牛田 卓也	熊本県公立高等学校長会会長	継続
13		田中 篤	熊本県公立高等学校長会教育課題委員会委員長	新規
14		池田 廣	熊本県私立中学高等学校協会会長	継続
15		田中 万里	熊本県PTA連合会会長	継続
16		松島 雄一郎	熊本市PTA協議会会長	継続
17		夏木 良博	熊本県公立高等学校PTA連合会会長	継続

県立高等学校入学者選抜制度検討委員会 関係者一覧

	氏 名	役 職
1	重岡 忠希	県立学校教育局長
2	古田 亮	市町村教育局長
3	竹中 千尋	教育政策課長
4	前田 浩志	高校教育課長
5	宮本 信高	特別支援教育課長
6	平江 公一	体育保健課長
7	藤岡 寛成	義務教育課長
8	柳田 壽昭	人権同和教育課長
9	永田 健吾	高校魅力化推進室長
10	坂本 憲昭	高校教育課審議員
11	米村 祐輔	高校教育課審議員
12	井手 正直	義務教育課審議員
13	中川 正利	県立教育センター審議員
14	釜賀 健司	高校教育課主幹
15	佃 隆樹	高校教育課指導主事
16	津ヶ原 しおり	高校教育課指導主事
17	工木 三恵	高校教育課指導主事

県立高等学校入学者選抜制度検討委員会設置要項

(目的及び設置)

第1条 入学者選抜制度の在り方等について検討するため、「県立高等学校入学者選抜制度検討委員会」(以下「検討委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 検討委員会は、熊本県教育長(以下「教育長」という。)の依頼により次に掲げる事項について協議する。

- (1) 入学者選抜制度の改善について
- (2) その他、入学者選抜に関することについて

2 検討委員会は、協議の結果を取りまとめ教育長に報告する。

(組織)

第3条 検討委員会は、委員16名程度で組織する。

(委員)

第4条 委員は、次に掲げる者のうちから教育長が就任を依頼する。

- (1) 学識経験者
- (2) 各種団体関係者
- (3) 議会・行政関係者
- (4) 学校教育関係者
- (5) 前4号に掲げる者のほか、教育長が必要と認める者

2 委員の任期は、委嘱した日から令和4年(2022年)3月31日までとする。ただし、審議が令和3年度(2021年度)中に終了しない場合は、1年間任期を延長できるものとする。

3 委員に欠員が生じたときは、補充することができる。

(会長及び副会長)

第5条 検討委員会に会長1名及び副会長1名を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 会長は、議事その他の会務を総理し、検討委員会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代行する。

(会議)

第6条 検討委員会は、会長が招集する。

2 検討委員会は、委員の過半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

3 検討委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(意見の収集)

第7条 会長は、必要があるときは、検討委員会に委員以外の者の出席を求め、その意見又は説明を求めることができる。

(庶務)

第8条 検討委員会の庶務は、熊本県教育庁県立学校教育局高校教育課において処理する。

(雑則)

第9条 この要項に定めるもののほか、検討委員会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

附 則

この要項は、令和3年(2021年)8月27日から施行する。

熊本県立高等学校入学者選抜制度検討委員会運営要領

熊本県立高等学校入学者選抜制度検討委員会の会議（以下「検討委員会」という。）に関する事務手続等については、この要領に定めるもののほか、熊本県立高等学校入学者選抜制度検討委員会設置要項（令和3年8月27日施行）、「審議会等の会議の公開に関する指針」（平成10年12月11日熊本県知事決定）及び「審議会等の会議の公開に関する指針の運用と解釈」の定めるところによる。

1 会議開催の周知等

(1) 検討委員会を開催するに当たっては、当該会議の開催日の1週間前までに次の事項を熊本県公報に登載するものとする。ただし、緊急に開催する場合は、この限りではない。

ア 日時

イ 場所

ウ 議題

エ 傍聴者の定員

オ 傍聴手続

カ 問合せ先

キ その他必要な事項

(2) 県公報への登載のほか、会議の開催日時、場所、議題等について、報道機関へ事前に情報を提供するものとする。

2 書面による議決

(1) 緊急その他やむを得ない事情のある場合は、会長の認めるところにより、事案の概要を記載した書面を委員に送付することにより賛否を問い、その結果をもって検討委員会の議決とすることができるほか、意見を徴することができる。

(2) 前項の場合において、会長は、その議決に係る事項を次に招集する会議において報告しなければならない。

3 会議へのWeb会議システムを利用した出席

(1) 委員は、会長が認めるときは、Web会議システム（映像と音声の送受信により相手の状態を相互に認識しながら通話をすることができるシステムをいう。以下同じ。）を利用して会議に出席することができる。この場合において、Web会議システムによる出席は、県立高等学校入学者選抜制度検討委員会設置要項第6条第2項に規定する出席に含めるものとする。Web会議システムの利用において、映像を送受信できなくなった場合であっても、音声即時に他の委員に伝わり、適時的確な意見表明を委員相互で行うことができるときも同様とする。

(2) Web会議システムを利用する委員が、映像のみならず音声を継続的に送受信できなくなった場合には、音声を継続的に送受信できなくなった時刻から、県立高等学校入学

者選抜制度検討委員会設置要項第6条第2項に規定する出席に含めないものとする。

- (3) Web会議システムによる検討委員会の出席は、できる限り静寂な個室その他これに類する施設で行うこととし、Web会議システムにより会議に出席する委員は、その映像及び音声を委員以外の者に視聴させてはならない。

4 傍聴の手続等

- (1) 傍聴の基本的な事項は、熊本県教育委員会会議傍聴人規則（平成13年11月21日教育委員会規則第6号。以下「傍聴人規則」という。）の規定を準用するものとする。
- (2) 傍聴受付は、会議開始30分前から行い、傍聴人受付簿（様式第1号）に住所及び氏名を記入した傍聴希望者に傍聴整理券を配付する。
- (3) 会議開始10分前に、傍聴整理券と引き換えに傍聴券（様式第2号）を交付する。ただし、傍聴希望者が定員を超えるときは、会議開始10分前に受付を終了し、抽選により傍聴人を決定する。傍聴希望者が定員に満たないときは、定員に達するまで、先着順に受付を行い傍聴券を交付する。
- (4) 傍聴人規則第2条第1項ただし書に規定する「報道関係者で会長が特に認める者」とは、熊本県政記者会に加盟する報道機関の記者等とし、名刺等で確認するものとする。
- (5) 係員は、傍聴人に対し、傍聴人規則第4条に規定する事項を遵守するよう指示する。
- (6) 傍聴人規則第4条第6号ただし書の会長の許可は、原則として熊本県政記者会に加盟する報道機関の記者等に対して行うものとする。
- (7) 傍聴人に対し、非公開とされた部分を除き会議資料を配付する。

5 会議の公開・非公開の決定

- (1) 審議事項等についての会議の公開の可否は、原則として会議の冒頭において議決する。
- (2) 非公開とされた事項は、原則として、公開とされた事項の審議等が終了した後に審議する。

6 議事録の記載方法等

- (1) 議事録は会議の公開・非公開にかかわらず、会議の概要を記載する。
- (2) 公開とされた会議の会議資料及び議事録は、情報プラザにおいて閲覧に供するものとする。
- (3) 非公開とされた会議の会議資料についても、会議での開示・不開示の決定に従い、開示とされた部分を情報プラザにおいて閲覧に供するものとする。

附 則

この要領は、令和3年10月8日から施行する。

県立高等学校入学者選抜制度検討委員会について

1 経緯について

入学者選抜については、日程の見直し、追検査の実施等、全国的に改変の傾向にある。また、令和2年度に開催された県立高校のあり方検討会の提言にも入試制度のあり方の検討が盛り込まれたところである。現行の入試制度で約10年が経過し、受検者数の減少もみられることから、前期（特色）選抜、後期（一般）選抜のあり方をはじめ、日程や内容等について検討する必要がある。

2 対応策

入学者選抜制度検討委員会を立ち上げ、外部有識者の意見も参考にしながら、入学者選抜における課題について検討を行い、入試制度の見直しを図り、高校の魅力化にもつなげる。

3 入学者選抜制度検討委員

3 ページ参照

4 協議依頼事項

選抜方法や実施時期等、現状に応じた入試制度のあり方について検討する必要がある。入試時期の見直しや選抜の方法など、現行の入試制度の課題や、中学生のニーズを踏まえた入試制度の改善の検討をお願いします。

5

検討委員会の開催実績

第1回 令和3年10月 8日（金）

第2回 令和3年12月17日（金）

本県における近年の入学者選抜制度の趣旨と課題等について

平成16年度までの入学者選抜

- ・推薦入試、一般入試、二次募集の実施

中央教育審議会第2次答申（平成9年6月）

- ・高等学校教育の個性化・多様化が進みつつある現在、高等学校がいかに自校にふさわしい者を選抜するかという視点だけでなく、多様な能力・適性や意欲・関心を持つ生徒が、いかに自分に合った進路を的確に選択するかという視点

中学校学習指導要領改訂（平成14年度～）

- ・生きる力を育むために、基礎基本をしっかりと身に付けさせ、自ら学び自ら考える力などの確かな学力を育むこと、基本的な規範意識と倫理観、公共心や他者を思いやる心などの豊かな心を育成する。

平成17年度～ 前期選抜、後期選抜の実施

【導入の趣旨】

- ・受検機会の拡大 ・受検生の多様な能力・適性を評価 ・高校の特色化

【導入後の課題】※検討会議事録より

- 1 不合格者が多い
- 2 入試事務の業務量の増加（中学校）
- 3 独自問題作成への負担（高校）
- 4 子どもと向き合う時間の減少（中学校・高校）

平成24年度～ 前期（特色）選抜、後期（一般）選抜（現行制度）の実施

（平成17年度から実施された制度の見直し。上記課題の解決）

【改正後の課題】※県立高校のあり方検討会報告書より

- 1 出願者数は減少傾向が続いている。
- 2 近年は中学卒業者数の減少を上回るペースで出願者数が減少している。
- 3 定員割れの高校が増加している。
- 4 高校の入学者選抜の倍率の低下が中学生の学力や、入学者選抜に向けての学習意欲の低下に影響しているとの指摘がある。全国学力・学習状況調査の結果を見ると、充足率が低い都道府県は得点も低い傾向が見られる。
- 5 受検者がほぼ全員入学している高校では、生徒間の学力差が大きくなり、入学後に、習熟度別指導などの多様な指導体制が求められる。
- 6 定員に対して入学者が少ないと、開講科目が減ったり、選択科目ごとの人数が減ったりするなど、教育課程の編成に支障が生じる。
- 7 定員割れが続く高校では、学校の過小評価につながり、更なる定員割れを招いているとの指摘もある。

令和4年度（2022年度）熊本県立高等学校入学者選抜の状況

1 R3年度（2021年度）からの変更点

- ・後期（一般）選抜の追検査受検者対象の二次募集の設定
※そのために、前期（特色）選抜、後期（一般）選抜及び二次募集の日程を1週間前倒しした。
- ・前期（特色）選抜の募集人員の募集定員における上限を50パーセントから70パーセントに変更
※ただし、熊本市に所在する高等学校は50パーセントのままとした。
- ・後期（一般）選抜追検査及び二次募集における新型コロナウイルス感染症に係る特別措置を設定
※特別措置1：追検査当日に新型コロナウイルス感染症のため追検査を受検することができなかった者対象。
※特別措置2：全日制課程及び定時制課程の二次募集（追検査受検者対象の二次募集及び特別措置1を含む）の検査実施日に新型コロナウイルス感染症のため面接等を受検することができなかった者対象。

2 R4年度（2022年度）入学者選抜の状況

- 前期（特別）選抜について（ ）内は令和3年度
- ・募集人員：3,588人（3,186人）
 - ・出願者数：5,110人（4,704人）
 - ・合格者数：2,896人（2,766人）
- ※募集人員の募集定員における上限を70パーセントとした学校は、11校34学科であった。
- 中高一貫教育（連携型）に係る入学者選抜
- ・募集人員：80人（80人）
 - ・出願者数：34人（29人）
 - ・合格者数：34人（29人）
- 後期（一般）選抜【全日制／定時制】
- ・募集人員：8,569人（8,785人）／440人（440人）
 - ・出願者数：7,692人（7,411人）／105人（78人）
 - ・合格者数：5,705人（5,842人）／98人（75人）

平成24年度入試以降の出願者数等の推移

中学卒業生数	入試年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
	中学校卒業生数(人)	18216	17773	17635	17275	17427	16971	16741	16332	16154	15742	16028
	対前年比(%)		97.6	99.2	98.0	100.9	97.4	98.6	97.6	98.9	97.4	101.8
	対24年度		97.6	96.8	94.8	95.7	93.2	91.9	89.7	88.7	86.4	88.0

前期(特色)	入試年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
	前期募集人員(人)	3,046	3,046	3,026	3,036	3,046	2,972	2,996	2,990	3,070	3,186	3,588
	前期出願者数(人)	6,265	5,807	5,465	5,392	5,881	5,631	5,380	5,235	5,180	4,704	5,110
	出願倍率	2.06	1.91	1.81	1.78	1.93	1.89	1.80	1.75	1.69	1.48	1.42
	対前年比(%)		92.7	94.1	98.7	109.1	95.7	95.5	97.3	98.9	90.8	108.6
	中学校卒業生数に占める出願者の割合(%)	34.4	32.7	31.0	31.2	33.7	33.2	32.1	32.1	32.1	29.9	31.9

※募集人員、出願者数は公立(県立+市立)のもの。前期(特色)選抜は全日制のみで実施。

後期(一般)	入試年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
	後期募集人員(人)	9,925	9,935	9,869	9,510	9,491	9,334	9,227	9,294	9,183	9,225	9,009
	後期出願者数(人)	10,363	10,378	9,950	9,457	9,720	9,252	8,960	8,503	8,157	7,489	7,797
	出願倍率	1.04	1.04	1.01	0.99	1.02	0.99	0.97	0.91	0.89	0.81	0.87
	対前年比(%)		100.1	95.9	95.0	102.8	95.2	96.8	94.9	95.9	91.8	104.1

※募集人員、出願者数は公立(県立+市立)のもの。全日制と定時制の合計数。

充足率等	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
	生徒募集定員(人)	12,080	12,000	11,920	11,600	11,600	11,400	11,280	11,280	11,240	11,240	11,160
	入学者数(人)	10,779	10,403	10,037	9,858	9,867	9,661	9,496	9,165	8,842	8,360	8,420
	生徒募集定員に対する充足率(%)	89.2	86.7	84.2	85.0	85.1	84.7	84.2	81.3	78.7	74.4	75.4
	高校数(校)	55	54	54	51	51	50	50	50	50	50	50
	定員割れしている高校数(校)	42	36	40	38	34	37	38	36	38	41	40
	定員割れしている高校の割合(%)	76.4	66.7	74.1	74.5	66.7	74.0	76.0	72.0	76.0	82.0	80.0

※データは県立のもの。入学者数については5月1日現在のもの。
 ※令和4年度データは入学者選抜結果(R4.3.16)に基づく入学予定者数

【資料5】

令和4年度（2022年度）熊本県公立高等学校入学者選抜における前期（特色）選抜出願者数
令和4年（2022年）1月17日

<全日制課程>

学校名	学科・コース	募集定員	前期（特色）選抜 の募集人員	出願者数		倍率	
				学区外		4年度	3年度
(県央地区)							
済々覺（普通）		400	-	-	-	-	-
熊本（普通）		400	-	-	-	-	-
第一		360	10	61	0	6.10	6.80
	普通	320	-	-	-	-	-
	//（英語コース）	40	10	61	0	6.10	6.80
第二		400	40	185	1	4.63	3.13
	普通	320	-	-	-	-	-
	理数	40	20	126	0	6.30	3.75
	美術	40	20	59	1	2.95	2.50
熊本西		360	40	69	0	1.73	2.00
	普通	280	-	-	-	-	-
	//（体育コース）	40	20	39	0	1.95	2.15
	サイエンス情報	40	20	30	0	1.50	1.85
熊本北		360	40	141	0	3.53	2.38
	普通	280	-	-	-	-	-
	理数	40	20	94	0	4.70	3.05
	英語	40	20	47	0	2.35	1.70
東稜		360	40	89	0	2.23	1.98
	普通	280	-	-	-	-	-
	//（国際コース）	40	20	43	0	2.15	2.15
	//（理数コース）	40	20	46	0	2.30	1.80
湧心館		160	20	37	0	1.85	2.15
	普通	120	-	-	-	-	-
	情報処理	40	20	37	0	1.85	2.15
熊本商業		360	180	509	1	2.83	2.60
	商業	200	100	281	0	2.81	3.09
	情報処理	80	40	124	0	3.10	2.40
	国際経済	40	20	63	0	3.15	1.55
	会計	40	20	41	1	2.05	1.60
熊本工業		400	200	540	4	2.70	2.13
	機械	40	20	59	0	2.95	2.60
	電気	40	20	49	0	2.45	1.85
	電子	40	20	31	1	1.55	2.00
	工業化学	40	20	53	1	2.65	1.60
	繊維工業	40	20	34	0	1.70	1.35
	土木	40	20	57	0	2.85	1.40
	建築	40	20	68	0	3.40	3.25
	材料技術	40	20	66	2	3.30	1.15
	インテリア	40	20	52	0	2.60	3.15
	情報システム	40	20	71	0	3.55	2.95
熊本農業		280	140	360	1	2.57	2.35
	農業	40	20	48	0	2.40	1.90
	園芸・果樹	40	20	55	0	2.75	2.10
	畜産	40	20	47	1	2.35	2.70
	農業経済	40	20	52	0	2.60	2.50
	農業土木	40	20	42	0	2.10	2.30
	食品工業	40	20	73	0	3.65	2.70
	生活	40	20	43	0	2.15	2.25
宇土（普通）		※240	-	-	-	-	-
松橋		200	100	53	0	0.53	0.95
	普通（文理総合コース）	80	40	11	0	0.28	0.73
	//（体育コース）	40	20	6	0	0.30	0.50
	情報処理	40	20	16	0	0.80	0.95
	家政	40	20	20	0	1.00	1.85

(備考1)

学校名	学科・コース	募集定員	前期(特色)選抜 の募集人員	出願者数		倍率	
				学区外		4年度	3年度
小川工業		200	100	184	0	1.84	1.62
	機 械	40	20	29	0	1.45	1.80
	建 築	40	20	35	0	1.75	1.40
	土 木	40	20	27	0	1.35	1.15
	設備工業	40	20	39	0	1.95	1.70
	情報電子	40	20	54	0	2.70	2.05
御 船		240	60	80	0	1.33	1.48
	普 通	120	-	-	-	-	-
	// (芸術コース)	40	20	28	0	1.40	1.70
	電子機械	80	40	52	0	1.30	1.38
甲 佐		120	60	25	0	0.42	0.63
	普 通	40	20	4	0	0.20	-
	// (福祉教養コース)	40	20	14	0	0.70	0.55
	ビジネス情報	40	20	7	0	0.35	0.70
矢 部		120	48	41	4	0.85	0.54
	普 通	40	8	12	0	1.50	1.38
	食農科学(農業科学コース)	20	20	21	2	1.05	0.25
	// (食・生活コース)	20					
	林業科学	40	20	8	2	0.40	0.50
(県北地区)							
岱 志		160	112	34	0	0.30	0.30
	普 通	120	84	20	0	0.24	0.22
	// (体育コース)	20	14	2	0	0.14	0.50
	// (美術工芸コース)	20	14	12	0	0.86	0.60
玉 名 (普通)		※280	-	-	-	-	-
玉名工業		240	120	198	0	1.65	1.68
	機 械	80	40	99	0	2.48	1.85
	電 気	40	20	31	0	1.55	1.40
	電 子	40	20	43	0	2.15	2.05
	工業化学	40	20	18	0	0.90	1.55
	土 木	40	20	7	0	0.35	1.40
北 稜		200	100	80	0	0.80	0.57
	普 通(人文コース)	40	20	14	0	0.70	0.30
	ビジネスマネジメント	40	20	17	0	0.85	0.70
	園芸科学	40	20	18	0	0.90	0.95
	造 園	40	20	9	0	0.45	0.30
	家政科学	40	20	22	0	1.10	0.60
鹿 本		240	42	71	0	1.69	2.17
	普 通	160	-	-	-	-	-
	みらい創造科(グローバル探究コース)	40	14	27	0	1.93	3.30
	// (スポーツ健康科学コース)	40	28	44	0	1.57	1.60
鹿本商工		160	80	95	1	1.19	1.48
	商 業	40	20	18	1	0.90	1.10
	情報管理	40	20	19	0	0.95	1.70
	機 械	40	20	24	0	1.20	1.35
	電子機械	40	20	34	0	1.70	1.75
鹿本農業		120	68	47	0	0.69	0.80
	園芸技術	40	20	13	0	0.65	0.75
	食品科学	40	28	21	0	0.75	1.30
	生活デザイン	40	20	13	0	0.65	0.35
菊 池		200	82	109	0	1.33	0.98
	普 通(未来探究コース)	40	14	11	0	0.79	-
	// (地域探究コース)	80	28	42	0	1.50	-
	商 業	80	40	56	0	1.40	0.98
菊池農業		200	100	128	3	1.28	1.32
	農 業	40	20	24	0	1.20	1.10
	園 芸	40	20	15	0	0.75	0.85
	畜産科学	40	20	34	3	1.70	1.50
	食品化学	40	20	31	0	1.55	2.20
	生活文化	40	20	24	0	1.20	0.95

(備考2)

(備考1)

学校名	学科・コース	募集定員	前期(特色)選抜 の募集人員	出願者数		倍率	
				学区外		4年度	3年度
阿蘇中央		280	172	98	14	0.57	0.97
	普通	120	60	39	8	0.65	1.42
	総合ビジネス	40	28	15	1	0.54	0.55
	農業食品	40	28	18	1	0.64	0.95
	グリーン環境	40	28	16	3	0.57	0.80
	社会福祉	40	28	10	1	0.36	1.05
大津		320	32	93	23	2.91	2.17
	普通	240	-	-	-	-	-
	理数	40	4	10	3	2.50	0.75
	普通(体育コース)	20	14	60	20	4.29	3.20
	普通(美術コース)	20	14	23	0	1.64	1.70
翔陽(総合学科)		280	140	304	0	2.17	2.20
高森(普通)		80	56	18	2	0.32	0.55
(県南地区)							
八代(普通)		※240	-	-	-	-	-
八代清流(普通)		200	-	-	-	-	-
八代東		160	80	77	5	0.96	0.83
	普通(体育コース)	40	20	21	5	1.05	0.80
	商業	80	40	40	0	1.00	0.93
	情報ネットワーク	40	20	16	0	0.80	0.65
八代工業		280	140	170	1	1.21	1.34
	機械	80	40	38	0	0.95	1.80
	電気	80	40	34	0	0.85	1.15
	工業化学	40	20	24	0	1.20	0.70
	インテリア	40	20	21	1	1.05	1.45
	情報技術	40	20	53	0	2.65	1.30
八代農業		160	80	63	0	0.79	0.59
	園芸科学	40	20	11	0	0.55	0.40
	食品科学	40	20	28	0	1.40	0.85
	農業工学	40	20	10	0	0.50	0.50
	福祉家庭	40	20	14	0	0.70	0.60
// 泉分校(グリーンライフ)		40	20	7	0	0.35	0.65
人吉(普通)		280	-	-	-	-	-
球磨工業		200	100	124	0	1.24	1.56
	機械	80	40	62	0	1.55	1.35
	電気	40	20	17	0	0.85	1.55
	建築(建築コース)	20	10	12	0	1.20	2.80
	// (伝統建築コース)	20	10	11	0	1.10	1.50
	建設工学	40	20	22	0	1.10	1.40
水俣		240	50	39	1	0.78	1.13
	普通	120	-	-	-	-	-
	商業	40	10	11	0	1.10	1.20
	機械	40	20	18	1	0.90	1.40
	電気建築システム(電気コース)	20	10	3	0	0.30	0.40
	// (建築コース)	20	10	7	0	0.70	1.20
天草(普通)		240	-	-	-	-	-
// 倉岳校(普通)		40	-	-	-	-	-
牛深(普通総合学科)		120	60	21	0	0.35	0.47
天草工業		200	100	131	1	1.31	1.35
	機械	80	40	55	0	1.38	1.55
	電気	40	20	26	0	1.30	0.60
	土木	40	20	22	1	1.10	1.20
	情報技術	40	20	28	0	1.40	1.85

(備考2)

(備考1)

学校名	学科・コース	募集定員	前期(特色)選抜 の募集人員	出願者数		倍率	
				学区外		4年度	3年度
天草拓心		280	168	126	2	0.75	0.74
	普通	40	-	-	-	-	-
	商業	40	28	15	0	0.54	1.15
	生物生産	40	28	14	0	0.50	0.30
	食品科学	40	28	24	0	0.86	1.10
	生活科学	40	28	28	0	1.00	0.60
	普通(総合コース)	40	28	3	0	0.11	0.25
	海洋科学(海洋航海コース)	20	14	23	0	1.64	1.60
	// (栽培・食品コース)	20	14	19	2	1.36	0.50
上天草		160	112	43	0	0.38	0.58
	普通	40	28	21	0	0.75	0.70
	// (グローバル文理コース)	40	28	7	0	0.25	0.40
	情報会計	40	28	13	0	0.46	0.60
	福祉	40	28	2	0	0.07	0.60
芦北		120	84	55	3	0.65	0.93
	農業	40	28	18	0	0.64	0.55
	林業	40	28	27	3	0.96	1.35
	福祉	40	28	10	0	0.36	0.90
球磨中央		160	112	96	0	0.86	1.26
	地域未来探究	40	28	34	0	1.21	1.10
	商業	80	56	32	0	0.57	1.38
	情報処理	40	28	30	0	1.07	1.20
南稜		200	140	124	0	0.89	1.03
	普通(体育コース)	20	14	18	0	1.29	1.30
	// (福祉コース)	20	14	17	0	1.21	1.10
	総合農業	80	56	34	0	0.61	0.90
	食品科学	40	28	23	0	0.82	1.10
	生活経営	40	28	32	0	1.14	1.05
人吉・五木分校(普通)		40	-	-	-	-	-
(熊本市立)							
必由館		360	60	170	58	2.83	2.67
	普通	240	-	-	-	-	-
	// (国際コース)	40	20	66	20	3.30	2.20
	// (芸術コース)	40	20	53	21	2.65	3.25
	// (服飾デザインコース)	40	20	51	17	2.55	2.55
千原台		200	100	215	38	2.15	2.04
	普通(国際経済コース)	40	20	27	8	1.35	1.15
	// (健康スポーツコース)	40	20	50	17	2.50	2.35
	情報(OA会計コース)	80	40	78	10	1.95	2.00
	// (経営情報コース)	40	20	60	3	3.00	2.70
計		11,640	3,588	5,110	163	1.42	1.48

(備考2)

備考

- 1 宇土高校、玉名高校、八代高校の募集定員(※印)には、併設型中学校からの入学予定者数も含む。
- 2 矢部高校の食農科学科の農業科学コースと食・生活コース、大津高校の普通科と理数科、上天草高校の普通科と普通科グローバル文理コースは、それぞれ学科ごとのくくり募集とする。ただし、大津高校、上天草高校は、後期(一般)選抜のみくくり募集とする。

令和4年度(2022年度)熊本県立高等学校中高一貫教育(連携型)に係る入学者選抜における出願者数

学校名	学科・コース	募集定員	中高一貫教育(連携型)に係る入学者選抜の募集人員	出願者数	倍率	
					4年度	3年度
小国	普通	80	80	34	0.43	0.36

令和4年度（2022年度）熊本県公立高等学校入学者選抜における後期（一般）選抜出願者数

令和4年（2022年）2月10日

<全日制課程>

学校名	学科・コース	前期（特色）選抜等の合格内定者数	後期（一般）選抜の募集人員	当初の出願者数	増減	出願確定者数		変更後倍率	
						学区外	4年度	3年度	
（県央地区）									
済々黌（普通）		-	400	673	-9	664	91	1.66	1.56
熊本（普通）		-	400	560	-5	555	39	1.39	1.40
第一		10	350	620	-8	612	67	1.75	1.95
	普通	-	320	584	-11	573	67	1.79	2.01
	//（英語コース）	10	30	36	3	39	0	1.30	1.33
第二		40	360	573	3	576	31	1.60	1.35
	普通	-	320	507	2	509	30	1.59	1.38
	理数	20	20	41	1	42	0	2.10	1.40
	美術	20	20	25	0	25	1	1.25	0.95
熊本西		40	320	238	7	245	6	0.77	0.69
	普通	-	280	206	7	213	5	0.76	0.66
	//（体育コース）	20	20	19	-2	17	1	0.85	1.00
	サイエンス情報	20	20	13	2	15	0	0.75	0.80
熊本北		40	320	529	3	532	59	1.66	1.43
	普通	-	280	472	-1	471	59	1.68	1.49
	理数	20	20	41	0	41	0	2.05	1.35
	英語	20	20	16	4	20	0	1.00	0.60
東稜		40	320	360	9	369	15	1.15	1.02
	普通	-	280	323	7	330	15	1.18	1.04
	//（国際コース）	20	20	18	0	18	0	0.90	1.10
	//（理数コース）	20	20	19	2	21	0	1.05	0.70
湧心館		20	140	105	0	105	1	0.75	0.71
	普通	-	120	75	2	77	0	0.64	0.69
	情報処理	20	20	30	-2	28	1	1.40	0.85
熊本商業		180	180	312	-2	310	0	1.72	1.56
	商業	100	100	173	-2	171	0	1.71	1.81
	情報処理	40	40	74	-1	73	0	1.83	1.43
	国際経済	20	20	40	-2	38	0	1.90	0.80
	会計	20	20	25	3	28	0	1.40	1.30
熊本工業		200	200	372	-3	369	0	1.85	1.31
	機械	20	20	33	1	34	0	1.70	1.60
	電気	20	20	36	-2	34	0	1.70	0.85
	電子	20	20	21	9	30	0	1.50	1.10
	工業化学	20	20	34	-5	29	0	1.45	0.75
	繊維工業	20	20	13	13	26	0	1.30	0.75
	土木	20	20	42	-6	36	0	1.80	0.60
	建築	20	20	52	-1	51	0	2.55	2.35
	材料技術	20	20	37	-4	33	0	1.65	0.50
	インテリア	20	20	32	-1	31	0	1.55	1.65
	情報システム	20	20	72	-7	65	0	3.25	2.90
熊本農業		140	140	218	0	218	0	1.56	1.14
	農業	20	20	29	-1	28	0	1.40	0.95
	園芸・果樹	20	20	34	1	35	0	1.75	1.00
	畜産	20	20	21	4	25	0	1.25	1.35
	農業経済	20	20	35	-1	34	0	1.70	1.30
	農業土木	20	20	23	-1	22	0	1.10	1.20
	食品工業	20	20	49	-3	46	0	2.30	1.30
	生活	20	20	27	1	28	0	1.40	0.90
宇土（普通）		-	167	171	-1	170	6	1.02	0.91
松橋		48	152	12	-1	11	0	0.07	0.24
	普通（文理総合コース）	9	71	3	0	3	0	0.04	0.19
	//（体育コース）	5	35	1	-1	0	0	0.00	0.00
	情報処理	16	24	7	0	7	0	0.29	0.24
	家政	18	22	1	0	1	0	0.05	0.75

学校名	学科・コース	前期(特色)選抜等の合格内定者数	後期(一般)選抜の募集人員	当初の出願者数	増減	出願確定者数		変更後倍率	
						学区外	4年度	3年度	
小川工業		100	100	94	-1	93	0	0.93	0.72
	機械	20	20	14	0	14	0	0.70	0.80
	建築	20	20	20	-1	19	0	0.95	0.45
	土木	20	20	6	1	7	0	0.35	0.40
	設備工業	20	20	17	1	18	0	0.90	0.80
	情報電子	20	20	37	-2	35	0	1.75	1.15
御船		60	180	117	1	118	0	0.66	0.56
	普通	-	120	93	1	94	0	0.78	0.56
	//(芸術コース)	20	20	8	0	8	0	0.40	0.50
	電子機械	40	40	16	0	16	0	0.40	0.58
甲佐		23	97	8	0	8	0	0.08	0.07
	普通	3	37	4	0	4	0	0.11	0.15
	//(福祉教養コース)	14	26	2	0	2	0	0.08	0.00
	ビジネス情報	6	34	2	0	2	0	0.06	0.04
矢部		35	85	8	1	9	1	0.11	0.20
	普通	8	32	6	1	7	1	0.22	0.50
	食農科学(農業科学コース)	19	21	2	0	2	0	0.10	0.06
	//(食・生活コース)								
	林業科学	8	32	0	0	0	0	0.00	0.03
(県北地区)									
岱志		31	129	2	0	2	0	0.02	0.04
	普通	17	103	2	0	2	0	0.02	0.04
	//(体育コース)	2	18	0	0	0	0	0.00	0.07
	//(美術工芸コース)	12	8	0	0	0	0	0.00	0.00
玉名(普通)		-	202	173	1	174	1	0.86	0.91
玉名工業		105	135	118	0	118	0	0.87	0.86
	機械	40	40	61	-6	55	0	1.38	0.93
	電気	20	20	11	3	14	0	0.70	0.55
	電子	20	20	39	-1	38	0	1.90	1.60
	工業化学	18	22	6	2	8	0	0.36	0.75
	土木	7	33	1	2	3	0	0.09	0.40
北稜		71	129	8	0	8	0	0.06	0.10
	普通(人文コース)	12	28	1	0	1	0	0.04	0.09
	ビジネスマネジメント	15	25	1	0	1	0	0.04	0.08
	園芸科学	16	24	3	0	3	0	0.13	0.27
	造園	8	32	1	0	1	0	0.03	0.00
	家政科学	20	20	2	0	2	0	0.10	0.11
鹿本		42	198	147	0	147	0	0.74	0.57
	普通	-	160	105	1	106	0	0.66	0.49
	みらい創造科(グローバル探究コース)	14	26	25	-1	24	0	0.92	1.10
	//(スポーツ健康科学コース)	28	12	17	0	17	0	1.42	0.65
鹿本商工		75	85	22	-1	21	0	0.25	0.54
	商業	17	23	0	0	0	0	0.00	0.15
	情報管理	18	22	0	0	0	0	0.00	0.85
	機械	20	20	6	-1	5	0	0.25	0.25
	電子機械	20	20	16	0	16	0	0.80	0.90
鹿本農業		46	74	4	0	4	0	0.05	0.09
	園芸技術	13	27	3	0	3	0	0.11	0.04
	食品科学	21	19	1	0	1	0	0.05	0.30
	生活デザイン	12	28	0	0	0	0	0.00	0.00
菊池		79	121	50	1	51	0	0.42	0.38
	普通(未来探究コース)	11	29	5	0	5	0	0.17	-
	//(地域探究コース)	28	52	26	1	27	0	0.52	-
	商業	40	40	19	0	19	0	0.48	0.17
菊池農業		95	105	34	0	34	0	0.32	0.38
	農業	20	20	3	0	3	0	0.15	0.30
	園芸	15	25	4	-1	3	0	0.12	0.17
	畜産科学	20	20	14	0	14	0	0.70	0.45
	食品化学	20	20	8	1	9	0	0.45	1.00
	生活文化	20	20	5	0	5	0	0.25	0.05

学校名	学科・コース	前期(特色)選抜等の合格内定者数	後期(一般)選抜の募集人員	当初の出願者数	増減	出願確定者数		変更後倍率	
						学区外		4年度	3年度
阿蘇中央		93	187	17	-1	16	0	0.09	0.16
	普通	37	83	9	0	9	0	0.11	0.24
	総合ビジネス	14	26	3	-1	2	0	0.08	0.10
	農業食品	16	24	4	0	4	0	0.17	0.00
	グリーン環境	16	24	0	0	0	0	0.00	0.08
	社会福祉	10	30	1	0	1	0	0.03	0.10
大津		32	288	215	3	218	54	0.76	0.54
	普通	-	276	162	2	164	31	0.59	0.49
	理数	4							
	普通(体育コース)	14	6	43	1	44	23	7.33	1.80
	普通(美術コース)	14	6	10	0	10	0	1.67	0.70
翔陽(総合学科)		140	140	150	2	152	0	1.09	1.12
小国(普通)		34	46	21	0	21	3	0.46	0.22
高森(普通)		18	62	3	-1	2	1	0.03	0.00
(県南地区)									
八代(普通)		-	170	175	0	175	5	1.03	1.16
八代清流(普通)		-	200	156	1	157	6	0.79	0.67
八代東		75	85	8	1	9	1	0.11	0.13
	普通(体育コース)	20	20	1	0	1	1	0.05	0.04
	商業	39	41	6	0	6	0	0.15	0.09
	情報ネットワーク	16	24	1	1	2	0	0.08	0.26
八代工業		131	149	59	-1	58	1	0.39	0.51
	機械	37	43	6	1	7	0	0.16	1.03
	電気	34	46	5	0	5	0	0.11	0.23
	工業化学	20	20	6	0	6	0	0.30	0.08
	インテリア	20	20	5	0	5	0	0.25	0.45
	情報技術	20	20	37	-2	35	1	1.75	0.65
八代農業		54	106	8	0	8	0	0.08	0.04
	園芸科学	10	30	1	0	1	0	0.03	0.03
	食品科学	20	20	6	0	6	0	0.30	0.09
	農業工学	10	30	0	0	0	0	0.00	0.03
	福祉家庭	14	26	1	0	1	0	0.04	0.00
// 泉分校(グリーンライフ)		7	33	1	0	1	0	0.03	0.07
人吉(普通)		-	280	205	-1	204	1	0.73	0.78
球磨工業		97	103	49	0	49	0	0.48	0.79
	機械	40	40	31	0	31	0	0.78	0.63
	電気	17	23	2	0	2	0	0.09	1.00
	建築(建築コース)	10	10	7	0	7	0	0.70	1.50
	// (伝統建築コース)	10	10	4	0	4	0	0.40	0.80
	建設工学	20	20	5	0	5	0	0.25	0.55
水俣		38	202	92	0	92	1	0.46	0.49
	普通	-	120	65	0	65	0	0.54	0.57
	商業	10	30	9	0	9	0	0.30	0.43
	機械	18	22	14	0	14	1	0.64	0.70
	電気建築システム(電気コース)	3	17	2	0	2	0	0.12	0.06
	// (建築コース)	7	13	2	0	2	0	0.15	0.07
天草(普通)		-	240	193	0	193	0	0.80	0.83
// 倉岳校(普通)		-	40	8	0	8	0	0.20	0.28
牛深(普通総合学科)		21	99	10	0	10	0	0.10	0.30
天草工業		100	100	44	1	45	0	0.45	0.66
	機械	40	40	19	1	20	0	0.50	0.90
	電気	20	20	6	0	6	0	0.30	0.07
	土木	20	20	4	0	4	0	0.20	0.40
	情報技術	20	20	15	0	15	0	0.75	1.25

学校名	学科・コース	前期(特色)選抜等の合格内定者数	後期(一般)選抜の募集人員	当初の出願者数	増減	出願確定者数		変更後倍率	
						学区外	4年度	3年度	
天草拓心		112	168	54	-1	53	1	0.32	0.30
	普通	-	40	19	0	19	0	0.48	0.40
	商業	15	25	7	1	8	0	0.32	0.35
	生物生産	14	26	2	0	2	0	0.08	0.09
	食品科学	24	16	6	0	6	0	0.38	0.90
	生活科学	28	12	2	0	2	0	0.17	0.21
	普通(総合コース)	3	37	1	0	1	0	0.03	0.09
	海洋科学(海洋航海コース)	14	6	12	-2	10	0	1.67	0.80
〃(栽培・食品コース)	14	6	5	0	5	1	0.83	0.00	
上天草		43	117	9	0	9	0	0.08	0.07
	普通	21	52	4	0	4	0	0.08	0.05
	〃(グローバル文理コース)	7							
	情報会計	13	27	4	0	4	0	0.15	0.14
福祉	2	38	1	0	1	0	0.03	0.04	
芦北		55	65	10	0	10	0	0.15	0.48
	農業	18	22	6	0	6	0	0.27	0.41
	林業	27	13	1	0	1	0	0.08	0.70
	福祉	10	30	3	0	3	0	0.10	0.36
球磨中央		88	72	11	1	12	0	0.17	0.48
	地域未来探究	28	12	6	1	7	0	0.58	0.40
	商業	32	48	1	0	1	0	0.02	0.50
情報処理	28	12	4	0	4	0	0.33	0.50	
南稜		112	88	27	0	27	0	0.31	0.23
	普通(体育コース)	14	6	4	0	4	0	0.67	0.30
	〃(福祉コース)	14	6	6	0	6	0	1.00	0.20
	総合農業	33	47	7	0	7	0	0.15	0.18
	食品科学	23	17	4	0	4	0	0.24	0.30
	生活経営	28	12	6	0	6	0	0.50	0.25
人吉・五木分校(普通)		-	40	7	0	7	0	0.18	0.10

学校名	学科・コース	前期（特色）選抜等の合格内定者数	後期（一般）選抜の募集人員	当初の出願者数	増減	出願確定者数		変更後倍率	
						学区外	4年度	3年度	
（熊本市立）									
必由館		60	300	487	2	489	78	1.63	1.60
	普通	-	240	400	1	401	55	1.67	1.69
	〃（国際コース）	20	20	33	1	34	9	1.70	0.90
	〃（芸術コース）	20	20	28	0	28	10	1.40	1.45
	〃（服飾デザインコース）	20	20	26	0	26	4	1.30	1.40
千原台		100	100	145	-1	144	12	1.44	1.18
	普通（国際経済コース）	20	20	14	5	19	2	0.95	0.86
	〃（健康スポーツコース）	20	20	33	-2	31	6	1.55	1.05
	情報（OA会計コース）	40	40	52	-2	50	3	1.25	1.08
	〃（経営情報コース）	20	20	46	-2	44	1	2.20	1.85
計		2,930	8,569	7,692	0	7,692	481	0.90	0.84

<定時制課程>

学校名	学科・コース	前期（特色）選抜等の合格内定者数	後期（一般）選抜の募集人員	当初の出願者数	増減	出願確定者数		変更後倍率	
						学区外	4年度	3年度	
湧心館		-	80	27	0	27	0	0.34	0.25
	普通	-	40	20	0	20	0	0.50	0.23
	情報科学（情報処理コース）	-	30	7	0	7	0	0.23	0.27
	〃（科学技術コース）	-	10	0	0	0	0	0.00	0.30
熊本工業		-	120	25	0	25	0	0.21	0.18
	機械	-	40	5	0	5	0	0.13	0.13
	電気	-	40	7	0	7	0	0.18	0.23
	建築	-	40	13	0	13	0	0.33	0.20
岱志（普通）		-	40	14	0	14	0	0.35	0.20
玉名（普通）		-	40	12	0	12	0	0.30	0.13
八代工業（総合学科）		-	40	9	0	9	0	0.23	0.10
人吉（普通）		-	40	8	0	8	0	0.20	0.18
水俣（商業）		-	40	4	0	4	1	0.10	0.20
天草（普通）		-	40	6	0	6	0	0.15	0.10
計		-	440	105	0	105	1	0.24	0.18

備考

- 1 募集人員は、募集定員から前期（特色）選抜及び中高一貫教育（連携型）に係る入学者選抜の合格内定者数を減じた数である。
- 2 宇土高校、玉名高校、八代高校の後期（一般）選抜の募集人員は、募集定員から併設する中学校からの入学予定者数を減じた数である。
- 3 出願者増減は、出願変更による増減である。
- 4 倍率は、出願確定者数を募集人員で割った数値である。
- 5 矢部高校の食農科学科の農業科学コースと食・生活コース、大津高校の普通科と理数科、上天草高校の普通科と普通科グローバル文理コースは、それぞれくり募集とする。

第1回県立高等学校入学者選抜制度検討委員会の論点について

第1回の観点	入試日程からの観点	入試日程の設定及び学習内容の終了時期や、入試後の中学生の指導について考慮すべきではないか。
		「進路を早く決めたい」という生徒、保護者の意見がある。
	学びの接続からの観点	学力検査を多くの受検生に課した方が良いのではないか。
	地方創生からの観点	選抜制度の検討を行う際には、地方(郡部)の高校の活性化という観点も必要なのではないか。
		選抜制度の見直しに当たっては、県全体のバランス(一極集中)も考える必要があるのではないか。
	入試制度について	入学者選抜制度は、一本化を検討してはどうか。又は、同一日に複数の形態で実施という考え方もあるのではないか。
受検生の能力・適性や、学校のスクールミッションを踏まえた入学者選抜制度が必要なのではないか。		
その他	事例研究	他県や私学の状況はどうなっているのか。
	(※働き方改革)	(選抜制度の見直しに当たっては、選抜制度に係る業務改善の観点も必要ではないか。)

第2回県立高等学校入学者選抜制度検討委員会の論点について

第2回の 観点	新しい入学者選抜制度 の趣旨について	新たな入試制度で何を指すのかを明確にすべきなのではないか
		これまでの趣旨、特に「受検機会の拡大」をどうとらえるかが重要なポイントではないか
		現場の負担軽減は大切だが、それだけで議論が終わらないようにすべきではないか
	学びの接続について	子供たちが最後までしっかり学んで高校に進学するような仕組みが必要ではないか
質問事項	新しい入学者選抜制度 の制度設計について	複雑にならない入試制度を目指すべきではないか
	「県外流出」の現状について	
	「一本化」した県のその後の傾向について	
他県の特別選抜の導入の経緯について		

各都道府県の入学者選抜のパターンについて

パターン	例	名称の例	割合の例	0%←	方法と割合のイメージ	→100%	当課による分析
1	本県現行	長崎(類似)	前期(特色)選抜 上限50(熊本市以外は上限70)%		例:前期(特色)選抜50 (熊本市以外は上限70)%	後期(一般)選抜 (30~50%のところが多)	○複数の受験機会が得られる。(ただし、本県の場合、全ての学科等ではない) ■前期選抜の趣旨を踏まえた検査問題の作成が求められ、作成する各学校に一定程度の負担がかかる。 ■不合格者へのケアが重要。 ■受験期間の長期化により、授業時間が十分確保しにくい。
2	推薦入試	福岡、大分、宮崎、沖縄等	推薦入試	例:20%	推薦入試 (10~50%のところが多)		○複数の受験機会が得られる。 ○学校は推薦要件を示すことで求める生徒を募集でき、生徒はより適性を生かした受験ができる。 ■推薦入試の趣旨を踏まえた検査問題の作成が求められ、作成する各学校に一定程度の負担がかかる。 ■不合格者へのケアが重要。 ■受験期間の長期化により、授業時間が十分確保しにくい。 ■評定平均等の一定の基準はあるものの、学校によっては高倍率になり、多くの不合格者が出る可能性がある。
			一般入試	例:80%	一般入試 (50~90%のところが多)		
3	一般入試のみ	千葉、埼玉、神奈川等	本検査	100%	例:本検査100%		○授業時間の確保ができる。 ○受験機会を一本化することで不合格体験による負担が少ない。 ■受験機会の減少による受験生の不安(進路決定への精神的負担など) ■1日に5教科の検査を実施する場合、受験生の体力的・精神的負担が懸念される。
4	同一日程で複数の選考	青森、宮城、静岡等	選考①	学力検査重視 50~90%が多い	選考①学力検査重視 (50~90%が多い)	選考②特色重視 (10~50%が多い)	○授業時間の確保ができる。 ○受験機会を一本化することで不合格体験による負担が少ない。 ○学力と特色という二つの基準で選考されるため、実質的な複数回受験となる。 ■受験機会の減少による受験生の不安(進路決定への精神的負担など) ■1日に5教科の検査を実施する場合、受験生の体力的・精神的負担が懸念される。
			選考②	特色重視 10~50%が多い			
5	スポーツ芸術 + 同一日程で複数の選考	佐賀	スポーツ文化芸術特別選抜(指定校のみ)	10~50%程度	特別選抜10~50%程度		○複数の受験機会が得られる。 ○受験方法の選択肢が多い(各自の適性を生かした受験が可能)。 ■特別選抜の趣旨を踏まえた検査問題の作成が求められ、作成する各学校に一定程度の負担がかかる。 ■不合格へのケアが重要。 ■学科に関わらず、特定分野の実績等が重視される懸念。
			一般選抜選考①	学力検査重視 50~90%が多い	選考①学力検査重視 (50~90%が多い)	選考②特色重視 (10~50%が多い)	
			一般選抜選考②	特色重視 10~50%が多い			